

# 仕合わせの和



H. 28. 10. 1  
(毎月1日発行)

## お金は生きている

(お金の成仏)

住職 谷川寛俊

食べる、着る、住む、医療、交通手段、電気ガス水道などなど。私たちは今の時代、生きていく上でお金のお世話にならない日はありません。昔はお給料をもらうと先ず仏壇に供え、お礼のお参りをしてから使ったものでした。現代は直接口座への振込がほとんどで、手にする物は小さな明細書。これでは仏壇にもお供えできませんね。しかし中でも、真成寺お檀家のUさんは、必ずお仏壇にお供えし、ご先祖様に感謝の気持ちを伝えておられる真面目な方もいらっしやいます。その尊いお金も、時にはそれによって道心を失い、犯罪や争いを生み、苦しみのどん底に陥

(おとしい)れることもあります。この時、お金はまさに「地獄の使い」とも言うべき存在になってしまいま

す。全国に知れわたった富山市議の政務活動費の不正が発覚し、8人もの辞職者(9月20日現在)が出て、異常な事態に陥(おちい)っています。新聞報道によると、「モラルの欠如」、「事務局の甘さ」等々、一般社会では考えられない不正で議員の資質が問われる大問題となっています。「物にも心があり、魂もある」という捉え方が、『法華経』の教えです。お金も同じで、お金は生きているのです。使う人の心次第で喜んだり、悲しんだりもし、時には怒りもします。感謝を忘れ、損得得だ、多いの少ないのど、愚痴や不満ばかり言っているとお金さんは悲しみ、お金さんに嫌われます。「ありがとう。おかげさま」と感謝して使えば、お金さんも納得して喜び、私たちの為に一生懸命働いてくれるはずです。この心になればお金

### 「仕合わせの和」

と打ち込んで頂ければ、ホームページにつながります。

編集・発行  
玉蓮山 真成寺  
編集部 谷川久仁子  
TEL・FAX 0765-22-2268  
携帯 080-3744-2523  
こちらの番号でもお寺につながります。

さんに好かれ、貪欲にならなくても、お金さんの方からついて来てくれるはずです。

人それぞれ徳分が違います。分を知り、他と比較して羨(うらや)んだり、妬(ねた)んだりしないで、分に応じ、て授かったお金に感謝する事が大切なのではないでしょうか。見栄や名誉、あるいは目先の楽しみのためばかりに使われたのでは、お金さんだって悲しいことでしょう。目先の欲に溺(おぼ)れず、将来を見据えて皆が共に良くなっていくよう有意義に活かすこと。つまり、功德となる使い方をし、そして仏様に喜んでもらえるような使い方をすることこそお金さんもきつと喜んでくれるでしょう。この時が「お金の成仏」というのです。お金に好かれるか逃げられるか、お金を生かすか殺すか、お金に成仏してもらおうか、それとも地獄の使いとするか。これは

ひとえに私達の心にかかっているのです。そして法華経・お題目(南無妙法蓮華経)を通して、仏様の御意(みこころ)に叶い、仏様に好かれる自分になること、それがそのままお金さんにも好かれることになるものと信じます。

